

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

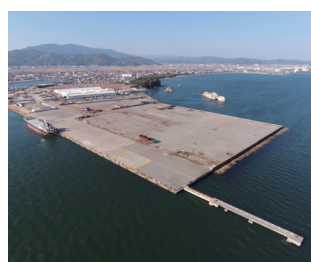
原稿を書いている今は、梅雨の最中、ずっとジメジメとした日が続いています。皆さま、如何お過ごしでしょうか。（お手元に届く頃には、夏空が広がっていればいいなと思いながら）あわみなと通信の夏号をお届けします。今号は、当事務所が行っている広報活動、地域の皆さまとの取組みといったことを中心に誌面構成をしています。

さて、当事務所では小松島港区の本港、金磯地区において老朽化した岸壁の大規模修繕を行っているところです。いずれも近代港湾としての小松島を当初から支え続けてきた基幹施設であり、まだまだ現役の大水深岸壁なのですが、一方で、荷役については安全面から利用が制限されています。

施設を利用する皆さまからは、できるだけ早く修繕を完了して再度利用ができる状態に戻してほしいとの要望を受けており、施工手順を工夫しながら鋭意修繕工事を進めているところです。現地工事が進んでいる金磯地区は、20ブロック（幅方向に2列、延長方向に10列）の栈橋式岸壁ですが、まずは海側10ブロックの工事を集中的に進めることで、一定利用ができるようにします。次いで本港地区は、利用制限の原因となっている老朽化の激しい上部工部分をプレキャスト部材化して修繕することで利用制限を解消した後、一定利用をしながら岸壁全体の工事に入るという2段階施工を予定しており、本年度設計等の検討をしています。

これに限らず当事務所では、地域のニーズをよくお聞きし、技術的な工夫を凝らしてそれにお応えし、また、必要なご協力もいただきながら事業を進めて参りたいと思っています。

令和元年7月16日 小松島港湾・空港整備事務所長 小田 幸伸



金磯地区岸壁

夏だ！祭りだ！船に乗ろう！

7月13日、徳島小松島港本港地区にて、小松島港まつり協賛行事として、当事務所所有の港湾業務艇「ひのみね」に乗って、一般の方々が徳島小松島港を探検する「みなと見学会」と、海をきれいにする船の船内見学「海面清掃兼油回収船みずきの一般公開」を行いました。

当日は雨がぱらつくあいにくの雨でしたが、みなと見学会は受付開始早々に定員に達したため、急遽臨時便を出して対応し、大変喜んでいただきました。また、みずきの船内では、たくさんの方々がゴミを回収する機械や操舵室内を興味深そうに見学しておりました。

なお、乗船後のアンケートでは、「普段海上からの見学ができないのでいい経験ができた。」「いつも海の安全を守ってくれてありがとう」等のご意見をいただきました。

これからも、このような機会を設けることで、広く地域の皆様に、港を身近に感じていただく取り組みを推進して参ります。



「ひのみね」に乗って出発

みずき船内操舵室
船長気分を体験中ゴミ回収作業の
デモンストレーション

豪華客船を海から間近で見よう！～みなと見学会を開催～

5月14日、徳島小松島港赤石地区に、大型クルーズ船MSCスプレディダ（パナマ船籍、約14万ト、乗員乗客約4,600人）が初寄港し、これに合わせて「みなと見学会」を開催しました。

参加者は、普段見ることができない海上からの景色や、全長333m、海面からの高さは約60mもある迫力満点のMSCスプレディダを間近に見ながら、カメラを片手に楽しんでおられました。また、乗船場所に展示した事務所の事業概要を紹介するパネルを熱心に見ていた方も大勢いらっしゃいました。

みなと見学会は、地域のイベントやクルーズ船寄港時等に合わせて開催しております。事務所ホームページにて事前に開催案内を掲載しておりますので是非ご覧ください。



夢中になって撮影する参加者の方々



船内では若手職員が徳島小松島港の魅力をわかりやすく説明



徳島小松島港の来し方行く末を考える～議論もいよいよ大詰め～

当事務所では、徳島県、小松島市とともに、「徳島小松島港中期構想・活性化検討委員会」を設置し、徳島小松島港の将来像について、学識経験者、港湾関連団体、行政が一体となって検討を進めております。

2040年頃を目標とした長期イメージから、バックカスティング手法にて、2030年頃までの施設整備や小松島港区活性化プラン等の中期構想の策定に向けて議論を続けて来しました。

徳島小松島港は、四国で唯一となる首都圏を結ぶフェリー航路や阪神港を結ぶ国際フィーダー航路、国際コンテナ航路等を有し、四国の経済、産業にとって重要な港湾となっています。また、港湾背後地の高速道路の整備、新たな企業誘致が促進される一方で、港湾施設の老朽化・陳腐化等の課題も顕在化してきており、徳島小松島港を取り巻く状況は大きく変化して来ています。

このような中、昨年度2回の委員会を開催し、委員の皆様より徳島小松島港の抱える課題や長期的な将来像についてご意見を伺いました。

令和元年6月11日には第三回委員会を開催し、これまでの議論を踏まえ、中期構想（素案）および小松島港区活性化プラン（案）の提案を行いました。

9月には最終の第四回委員会を予定しており、徳島小松島港中期構想（案）および小松島港区活性化プラン（案）の取りまとめを行います。



第三回委員会の様子



委員会後、海上視察会を行いました。



ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

国土交通行政関係功労者表彰について

四国地方整備局では、平成30年度内に完成した工事、完了した業務の中で特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者等を表彰しています。本事務所の関係では、「平成29年度 徳島小松島港沖洲(外)地区防波堤築造等工事」(施工：五洋建設株式会社四国支店、現場代理人：玉井雄二郎氏)が表彰されました。

本工事は、平成29年8月から平成30年9月にかけて、防波堤の延伸に係る海上地盤改良や基礎捨石等を施工したもので、近傍において大型フェリーや一般貨物船などが多数航行する工事箇所、関係者との綿密な調整や入念な工程管理が実施され、12ヶ月以上の工期において無事故無災害で工事を終えたこと、また、実施にあたり、安全管理・品質管理の向上に積極的に取り組んだことが評価されました。



表彰式の様子

(最下段右一番目：五洋建設株式会社四国支店長
上から二段目右二番目：現場代理人)



砂杭を打設し、
地盤を強化

工事場所近傍を
フェリーが航行

海上地盤改良（軟弱地盤の改良）

海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰について

四国地方整備局では、海をきれいにするために、港内、海浜等の美化活動に貢献した団体及び個人を対象に奉仕活動表彰を行っています。

令和元年度は、徳島県下で阿南市立椿町中学校が表彰されました。椿町中学校区には、ウミガメが上陸・産卵する蒲生田海岸があります。環境保全の精神を高めると共に、ウミガメの産卵を通して生命に対する畏敬の念や郷土愛を育むため、毎年、地域団体（阿南市KITT賞賛推進会議）の海岸清掃活動に全校で参加していることが評価されました。



表彰状を贈呈

今年も県内各地で海岸清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」を開催！

「リフレッシュ瀬戸内」とは、美しい瀬戸内海を次の世代へ引き継ぐと、平成5年から沿岸自治体が毎年行っている海岸清掃活動です。

徳島県内では5月下旬～7月上旬にかけて、鳴門市、松茂町、小松島市、阿南市、徳島市で開催されました。特に小松島市横須海岸では、県内最大規模である約1000人が参加し、清掃活動に加え、海の健康診断調査や、子供たちによるアサリの放流も行われました。当事務所からは、職員と共に海面清掃兼油回収船「みずき」が出動し、海面の浮遊ゴミを回収しました。また、事業概要を紹介するパネルを展示し、大勢のみなさんに見て頂きました。

絶好の清掃日和！
(小松島市横須海岸にて)



「みずき」出動



出前講座を開催 ～徳島小松島港の歴史を学ぶ～

7月4日、小松島市教育委員会主催により、小松島の歴史、文化、自然などを学習する「ふるさと講座」が、小松島市立図書館にて開催されました。

当事務所は「徳島小松島港のあゆみ」と題して徳島小松島港の過去・現在・未来について約1時間半の講演を行いました。

港とともに街が発展してきた小松島港や、かつては河川からの流入土砂による埋没との戦いだった徳島港、また、現在では県内の貿易拠点となっている小松島港区やフェリーによる物流が盛んな徳島港区等、懐かしい写真とともに港の変遷について説明し、参加者からは沢山の質問があり、港への関心の高さがうかがえました。

また、講演後のアンケートでは「徳島小松島港の将来に期待が膨らみワクワクした。」「生まれ育った昔懐かしい写真を見て涙を流した」等の感想を頂きました。

当事務所では、海洋環境やみなとの防災についても出前講座を受け付けております。



講演の様子



大正8年 阿摂航路の小松島港の定期船とハイカラ館
(小松島港湾・空港整備事務所 40年誌より)

ドローン操縦訓練

各地で頻発する地震や豪雨災害などの被災現場においては、ドローンによる情報収集、提供が効果的です。

四国地方整備局では、職員等が地震、風水害時に安全に、効果的にドローンを活用するために、関連知識や操縦技術の習得を目指して定期的な講習会を行っています。

一般的にドローンは、GPS機能による安定飛行がサポートされていますが、GPS機能が故障した場合であっても手動での安定飛行ができるように、定期的に講習会を開き、訓練を重ねています。

当事務所では平成31年3月にドローンを導入しており、今後は受講者を増やし、飛行経験を重ねることでドローン活用のための体制を整えていく予定です。



ドローン外観



ドローンによる空撮写真
(既受講者による飛行訓練)

出前講座の申し込み受付中！

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座（みなと学習、環境学習、防災学習）を開講しています。

楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



出前講座、現場見学のお問い合わせは・・・

当事務所
TEL (0885)-32-3357

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。